



# 備前市男女共同参画社会の推進に関する 市民意識調査報告書

2020年（令和2年）12月



# 目次

<b><u>I. 調査概要</u></b> .....	<b>1</b>
<u>1. 調査目的</u> .....	1
<u>2. 調査方法</u> .....	1
<u>3. 回収結果</u> .....	1
<u>4. 留意点</u> .....	1
<b><u>II. 調査結果</u></b> .....	<b>2</b>
<u>1. 男女共同参画社会の推進に関して</u> .....	2
<u>2. 自由意見</u> .....	9
<u>3. 回答者の属性</u> .....	17
<b><u>III. 巻末資料（調査票）</u></b> .....	<b>18</b>

## I. 調査概要

### 1. 調査目的

この調査は、男女共同参画社会に関する意識と生活実態を把握し、次期（第4次）備前市男女共同参画基本計画の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画施策推進のための参考とすることを目的として実施しました。

### 2. 調査方法

本調査の実施概要は以下のとおりです。

項目	内容
①調査対象	市内在住の18歳以上75歳未満の男女2,000人
②抽出方法	2020（令和2）年7月1日現在で満18歳以上75歳未満の市民から無作為抽出
③調査方法	調査票を郵送で配布し、郵送で回収
④調査期間	2020（令和2）年7月6日（月）～7月20日（月） ※8月14日（金）到着分までを集計・分析

### 3. 回収結果

※市民意識調査の回収結果です。R2年は男女共同参画に関するもののみ実施しました。

項目\年度	H22	H23	H24	H25	H27	H29	R1	R2年
抽出数（件）	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500	3,000	2,000
返送数（件）	8	11	8	7	0	6	0	1
実送付（件）	1,992	1,989	1,992	1,993	2,000	2,494	3,000	1,999
有効回答数（件）	811	892	702	844	815	836	945	640
有効回答率（％）	40.6	44.8	35.2	42.3	40.8	33.5	31.5	32.0

注）返送は、転居先不明などにより返ってきたものです。

### 4. 留意点

- (1) 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問対象者数を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の場合の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

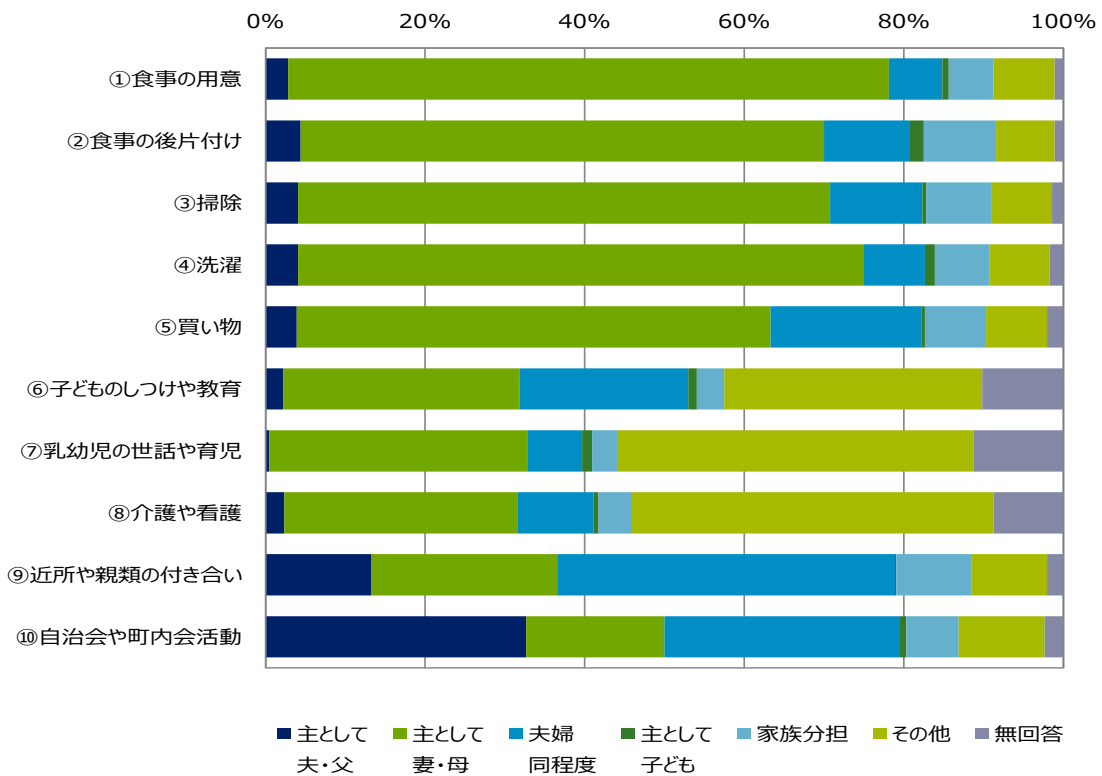
## II. 調査結果

### 1. 男女共同参画社会の推進に関して

男女共同参画社会の推進に関する質問の調査結果は以下のとおりです。

#### ① 日ごろの家庭での役割分担

日ごろの家庭での役割分担に関する調査（問1 あなたの家庭では、日ごろ次のような役割を主に誰が行っていますか？）の結果、①食事の用意、②食事の後片付け、③掃除、④洗濯、⑤買い物は「主として妻・母」が役割を担っているが7割から6割程度となっています。また、⑥子どものしつけや教育、⑦乳幼児の世話や育児、⑧介護や看護は「主として妻・母」が役割を担っているが3割程度となっています。⑨近所や親類の付き合いは「夫婦同程度」が4割程度となっています。⑩自治会や町内会活動は「主として夫・父」「夫婦同程度」が役割を担っているが同程度となっています。



役割	主として夫・父	主として妻・母	夫婦同程度	主として子ども	家族分担	その他	無回答	計
① 食事の用意	18	482	43	5	36	49	7	640
② 食事の後片付け	28	420	69	11	58	47	7	640
③ 掃除	26	427	74	3	52	49	9	640
④ 洗濯	26	454	49	8	44	48	11	640
⑤ 買い物	25	380	121	3	49	49	13	640
⑥ 子どものしつけや教育	14	190	135	7	22	207	65	640
⑦ 乳幼児の世話や育児	3	207	44	8	20	286	72	640
⑧ 介護や看護	15	187	61	4	27	290	56	640
⑨ 近所や親類の付き合い	85	149	271	1	60	61	13	640
⑩ 自治会や町内会活動	209	111	189	5	42	69	15	640

② 男性と女性の優遇

男性と女性の優遇に関する調査（問 2 ①あなたは、社会通念、慣習、社会制度について、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか？）の結果、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 367 件（57.3%）と最も多く、次いで「男女平等になっている」が 88 件（13.8%）、「男性の方が非常に優遇されている」が 65 件（10.2%）となっています。

男女の優遇	回答数	割合		n=640
どちらかといえば男性の方が優遇されている	367	57.3%		367
男女平等になっている	88	13.8%		88
男性の方が非常に優遇されている	65	10.2%		65
どちらかといえば女性の方が優遇されている	24	3.8%		24
女性の方が非常に優遇されている	7	1.1%		7
わからない	86	13.4%		86
無回答	3	0.5%		3
合計	640	100.0%		

また、前問（問 2）で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した 432 名を対象とした、男性の方が優遇されている理由に関する調査（問 2-1 男性の方が優遇されている原因についてあてはまると思う番号を 3 つまで選んでください）の結果、「男女の役割分担について社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから」が 344 件と最も多く、次いで「男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから」が 206 件、「男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから」が 142 件となっています。

男性が優遇されている理由	回答数	割合		n=432
男女の役割分担について社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから	344	79.6%		344
男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから	206	47.7%		206
男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから	142	32.9%		142
能力を発揮している女性を適正に評価する環境や機会が欠けていると思うから	124	28.7%		124
女性が能力を発揮できる環境や機会が充分でないと思うから	119	27.5%		119
育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから	102	23.6%		102
専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから	35	8.1%		35
男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから	25	5.8%		25
女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから	14	3.2%		14
その他	13	3.0%		13
合計	1,124	-		

### ③ 女性の就業

女性の就業に関する調査（問3 あなたは、女性の就業について、どう思いますか？）の結果、「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が 277 件（43.3%）と最も多く、次いで「結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい」が 218 件（34.1%）となっています。

女性の就業	回答数	割合		n=640
子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	277	43.3%	277	
結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい	218	34.1%	218	
子どもができるまでには仕事をやめる方がよい	5	0.8%	5	
女性は就業しない方がよい	4	0.6%	4	
わからない	47	7.3%	47	
その他	79	12.3%	79	
無回答	10	1.6%		
合計	640	100.0%		

### ④ 女性が役職（管理職）に登用されていない理由

女性が役職（管理職）に登用されていない理由に関する調査（問4 あなたは、女性が政策・方針の決定にかかわる役職（管理職）にあまり登用されていない理由は何だとお考えですか？）の結果、「男性優位の組織運営になっているから」が 193 件（30.2%）と最も多く、次いで「結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから」が 144 件（22.5%）となっています。

女性が役職（管理職）に登用されない理由	回答数	割合		n=640
男性優位の組織運営になっているから	193	30.2%	193	
結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから	144	22.5%	144	
家庭、職場、地域における性別役割分担があるから	73	11.4%	73	
家事・育児等家庭を優先的に考えるため、責任ある役職につきたいから	64	10.0%	64	
家庭の支援・協力が得られないから	45	7.0%	45	
女性の能力の発揮機会が不十分だから	35	5.5%	35	
女性側の積極性がないから	22	3.4%	22	
職場や会議などに女性の構成員が少ないから	21	3.3%	21	
その他	33	5.2%	33	
無回答	10	1.6%	10	
合計	640	100.0%		

⑤ 男女の役割に対する意識

男女の役割に対する意識に関する調査（問5 あなたは、男女の役割分担に対する意識についてどう思いますか？）の結果、「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が419件（65.5%）と最も多く、次いで「男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい」が103件（16.1%）となっています。

男女の役割分担に対する意識	回答数	割合		n=640
男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい	419	65.5%	419	
男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい	103	16.1%	103	
男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任を持つのがよい	30	4.7%	30	
男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい	25	3.9%	25	
その他	33	5.2%	33	
わからない	26	4.1%	26	
無回答	4	0.6%	4	
合計	640	100.0%		

⑥ 男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと

男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことに関する調査（問6 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことは何だと思いますか？（○は3つまで））の結果、「保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実」が350件と最も多く、次いで「病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実」が296件、「出産休暇や育児休業などの制度の充実」が271件となっています。

男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと	回答数	割合		n=640
保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実	350	54.7%	350	
病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実	296	46.3%	296	
出産休暇や育児休業などの制度の充実	271	42.3%	271	
職場における男女平等な取り扱い等の周知徹底	180	28.1%	180	
学校教育、社会教育などの場での男女の平等と相互の理解や協力についての学習の充実	147	23.0%	147	
女性の政策決定の場への積極的登用	115	18.0%	115	
女性の就労機会の確保と就業教育や訓練の充実	95	14.8%	95	
町内会など、地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進	64	10.0%	64	
リーダー養成など女性の人材育成の推進	64	10.0%	64	
男女共同参画社会にかかわる情報の収集・提供	56	8.8%	56	
女性に対する暴力の防止及び被害者の支援促進	35	5.5%	35	
広報紙、講演会などによる男女の平等や慣習の見直しなどの啓発	33	5.2%	33	
その他	20	3.1%	20	
合計	1,726	-		



⑦ DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為

DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為に関する調査（問 7 あなたは、今まで DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたことがありますか？）の結果、「いいえ」が 558 件（87.2%）、「はい」が 44 件（6.9%）となっています。

DVと思われる行為を受けたことがある	回答数	割合		n=640
はい	44	6.9%	44	
いいえ	558	87.2%	558	
わからない	33	5.2%	33	
無回答	5	0.8%	5	
合計	640	100.0%		

また、前問（問 7）で「はい」と回答した 44 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動の種類に関する調査（問 7-1 あなたは、次のどの行為を受けましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた」が 34 件ともっとも多く、次いで「殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた」が 17 件となっています。

受けたことがあるDVと思われる行為	回答数	割合		n=44
暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた	34	77.3%	34	
殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた	17	38.6%	17	
子どもの前でばかにされたり、責められたりされた（子どもを巻き込んだ暴力）	13	29.5%	13	
外出を制限する、携帯電話・スマートフォンをチェックする、友人、親戚との付き合いを禁止するなどの社会的暴力を受けた	6	13.6%	6	
見たくないポルノビデオを見せられたり、いやがっているのに性的行為を強要されたり、避妊に協力してくれないなどの性的暴力を受けた	3	6.8%	3	
生活費を入れてくれない、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた	2	4.5%	2	
その他	4	9.1%	4	
合計	79	-		

さらに、前々問（問 7）で「はい」と回答した 44 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動を受けたときの相談先に関する調査（問 7-2 DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたとき、どこへ相談しましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「どこへも相談しなかった」が 22 件、「友人・知人」が 13 件、「親族」が 10 件となっています。

DVと思われる行為を受けたときの相談先	回答数	割合		n=44
どこへも相談しなかった	22	50.0%	22	
友人・知人	13	29.5%	13	
親族	10	22.7%	10	
警察	4	9.1%	4	
弁護士	3	6.8%	3	
市や県(女性相談所、男女共同参画センターなど)の相談窓口	3	6.8%	3	
民間の相談機関	2	4.5%	2	
人権擁護委員	1	2.3%	1	
民生委員・児童委員	0	0.0%	0	
医師・カウンセラーなど	0	0.0%	0	
その他	1	2.3%	1	
合計	59	-		





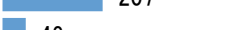




⑧ DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策

DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策に関する調査（問 8 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすには、どのような支援や対策が必要だと思いますか？（○は 3 つまで））の結果、「DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発」が 293 件、「加害者への罰則の強化」が 227 件、「被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供」が 218 件となっています。

DVをなくすために必要な支援や対策	回答数	割合		n=640
DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発	293	45.8%	293	
加害者への罰則の強化	227	35.5%	227	
被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供	218	34.1%	218	
被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助	199	31.1%	199	
被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供	169	26.4%	169	
被害者への経済的な自立に向けた支援	166	25.9%	166	
お互いの人権を大切に教育の充実	138	21.6%	138	
加害者への指導やカウンセリング	128	20.0%	128	
被害者支援サポーターとして身近に相談できる人を養成する	79	12.3%	79	
被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助	71	11.1%	71	
被害者に対する周囲の理解と協力	59	9.2%	59	
暴力等を防止するためのセミナー、イベントなどの充実	18	2.8%	18	
被害者への民間支援グループなどによる援助	11	1.7%	11	
その他	18	2.8%	18	
合計	1794	-		






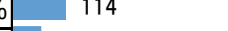




⑨ 性的マイノリティの人権に関する問題

性的マイノリティの人権に関する調査（問 9 あなたは、性的マイノリティの人権に関し、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか？（○は 3 つまで））の結果、「性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること」が 353 件、「職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること」が 340 件、「差別的な言動を受けること」が 324 件となっています。

性的マイノリティの人権に関する問題	回答数	割合		n=640
性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること	353	55.2%		353
職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること	340	53.1%		340
差別的な言動を受けること	324	50.6%		324
就職・職場で不利な扱いを受けること	264	41.3%		264
じろじろ見られたり、避けられたりすること	207	32.3%		207
経済的に自立が困難なこと	48	7.5%		48
アパートなどの住宅への入居が容易でないこと	29	4.5%		29
宿泊施設・店舗などへの入居や施設利用を拒否されること	24	3.8%		24
その他	30	4.7%		30
合計	1619	-		

⑩ 性的マイノリティの人権が守られるために必要なこと

性的マイノリティの人権が守られるために必要なことに関する調査（問10 性的マイノリティの人権が守られるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか？（〇は3つまで））の結果、「学校などで子どもたちの学習機会」が293件、「就労において差別されないような企業への働きかけ」が264件、「専門の相談窓口」が214件となっています。

性的マイノリティの人権を守るために必要なこと	回答数	割合		n=640
学校などで子どもたちの学習機会	293	45.8%		293
就労において差別されないような企業への働きかけ	264	41.3%		264
専門の相談窓口	214	33.4%		214
広報紙やホームページ、講演会など、市民の理解促進のための啓発活動	204	31.9%		204
パートナーシップ証明書の発行など、社会制度の見直し	190	29.7%		190
制服やトイレなど、教育現場での配慮	188	29.4%		188
性の多様性について交流を行うコミュニティスペース	114	17.8%		114
当事者へのアンケート調査	61	9.5%		61
性的マイノリティ支援宣言	57	8.9%		57
その他	29	4.5%		29
合計	1614	-		

## 2. 自由意見

「男女共同参画社会に関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。」の結果は以下のとおりです。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
1	女性	50歳代	平和、調和の世界の実現には、個々の不安を取り除くことを優先させる必要があると思う。行政機関にできることは生活に対する不安、主に経済的な不安の解消に努めることだと思う。個々の働き思いやりが顕現される社会を目指せば後は自然に成るように成る。
2	女性	70歳代	戦後、男女平等の教育を受けていますが、実社会ではなかなかお互いの意識の中で平等になっていません。男は外、女は家という無意識の根強さを実感します。自分を含めて。
3	女性	60歳代	男女ともに経済的にも、家事などの家庭での役割についても自立する必要があると思います。男女とも一人で生活することになる可能性があります。一人ではやっていけないという状況になると、男女どちらにとっても不幸です。お互いのために男女共同参画社会は必要だと思います。
4	女性	20歳代	このアンケートで何か変わりますか？何のためのアンケートですか？
5	男性	60歳代	果たして、このような社会をどれだけの人が望んでいるか？この基本法はまさに「絵にかいたもち」としか思えない！！なぜなら、人間は動物の中で唯一「思っていることが言える」つまり「うそ」を言える動物だからです。その典型が日本を代表する総理です。訂正、取消したら「無かったこと」になる国会議員特権。こんな世の中である以上男女共同参画なんてあり得ない。私の持論です。このアンケートが無だにならない事を願っています。
6	女性	60歳代	無責任かも知れませんがあまり考えた事がありません。男女共同参画社会がどういう事をするのかと言う事も知りませんでした。
7	男性	50歳代	推進する意味がわからない。無理にすることもない。
8	男性	60歳代	かつて人権に関与していましたので、一般の方より情報、知識等多いと思います。多様化社会の現実を知っていただき、個々の人々が互いの人権を認め合う社会に育っていただきたい。
9	男性	60歳代	女性のする家庭料理を教室で指導してくれるような会合場所を設立して教えてくださいさようお願いします。
10	女性	50歳代	岡山大学大学院保健学研究所中塚研修室も研究も参考にされたいと思います。
11	女性	50歳代	孫ができて感じるのですが、娘は産休、育休をとり子育てしていますが、娘の夫（配偶者）は一般的な会社勤務で産休を取ることが実質できません。少子化の中、父親も育休を取れる社会が常識となれば良いなあと思います。
12	男性	20歳代	ストレス発散できる場所を市内に増やしてほしい。居酒屋とかショッピングモールとか。
13	男性	60歳代	男女はそれぞれに長所短所があり、補い合って生きていくものだと思います。共同と言いつつ相方権利を主張することで男女の分断にならないことを希望します。
14	女性	20歳代	男性・女性問わず多様な生き方を実現するためには根付いた意識、知識を改めると同時に当人たちの背中を後押しするための社会制度が必要だと思います。
15	男性	70歳代	理由あって生涯独身を余儀なくされた私ですからハッキリとお答えすることができずすみません。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
16	男性	60歳代	女性の社会進出は大いに支援することで、高い能力を持った方が多くいます。女性の中にご自分の立ち位置を低くしている方が見受けられます。社会が評価の有り方を変えないとならない。男性・女性共に家庭社会において慣れたことを年数かけて変革しなければならない。
17	女性	20歳代	備前市は、教育に対する対策がまだまだだと思う。そこをより良くすれば、お母さんもお父さんも同じよう働ける環境になると思う。
18			子どもたちに体験活動をしっかりさせて自立できるように願います。掃除、食事、身の危険を守る生き方を！！洗濯はすべてマシンまかせだから別になし。
19	男性	50歳代	通常、女性は育児などは避けられないし、男女とも育児等には積極的に関わらなければならないし、仕事について考えいろいろな制度ができて子どもには愛情を注ぐことが重要と考えるべき。地域を項目にする意図がわからない。（問11）
20	女性	40歳代	同じように仕事に就いても、女性がして当たり前という意識は根強く、家事や育児の協同作業はできていないのが現実だと思います。女性側にもその意識が強いことも原因だと思います。何もかも平等に、というのは難しいですし、必要ないかもしれませんが。どんな人もお互いに対する尊敬や感謝の気持ちを持つことがまずは必要なのではと思います。
21	女性	60歳代	人間心に余裕がないと他人、自分にやさしくなれない。それだとDVが起こる。例えば、親が子供を怒るなど怒られて育った子供が大人になり、また、子供にとめづいていく。だから、心に余裕がもてる人間こそがよいと思う。
22	女性	60歳代	世の中いろいろな人間が居ると思われますが、人間の尊重、理解、話し合いが必要ではないかと思われまますがなかなか他人の事は話せても自身の事は話したくないのが人間であり、その中から必要な事を探し出すのは難しい事だと思われまますができる限り話を聞き、行動をさぐる行動を取っていただきたいものです。
23	女性	40歳代	社会的に職場も含め男性の育児休暇がとりにくい。または、男性に対しても寛大ではないと思う。
24	女性	50歳代	男女共同参画については、年配の男性に理解されていない場合が多いと思うので、その年齢層（50代以上）の方々への講習会等が必要。
25	女性	60歳代	社会全体が少しずつ変わってきて、男性も家事、育児に関わってくるようになってきていますが、私たちのような年代では、男は外、女は内という意識がまだまだ高いようです。確かに、男性の見る目と女性の見る目はいろいろ違うと思いますが、その違いを同じ目線で話し合い、良い方向に行くような生活、家庭、地域、社会になればいいな！と思います。
26	女性	60歳代	身近に起こっていないし聞いてもないから、普段、気に留めていない。時々テレビで聞いたことあるくらいで、もし、身近に被害にあった人いるなら真剣に取り組みたい。一番は家族が助けてあげないと！！
27	男性	60歳代	備前市役所でも部長級の女性が何割なのか開示すべき。さらに、女性の部長割合目標設定も必要。昇格するための資格が育児休暇、時短により不利になっていないか、市民に理解してもらう前に市役所が積極的に進めて（目標設定）結果を公表してから、市民に推進すべきではないか。
28	男性	70歳代	頑張ってください。
29	男性	60歳代	当アンケートは備前市独自に行っていますか。内閣府男女共同参画局のサイトに全く同様の調査研究があります。アンケートの集計も一つの仕事だと思いますが、次の一歩が大事だと思いますのでよろしくお願いします。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
30	男性	50歳代	現在は、共同参画社会になっていると思います。女性議員が少ないといっても政治的な勉強をしていないから、女性議員、管理職を増やせと言っても能力がない者が議員や管理職になっても困るのは行政であり市民であります。
31	男性	50歳代	「男女共同参画」という言葉の意味及び学習機会がない。DVについても備前市の高齢化地区ではなじみがなく、住民に認識、理解する人が少ない。また、学習する場もなく自分のまわりでDV被害に会っている人がいても気づかない。中学生ぐらいから学習してもよいのでは。
32	男性	70歳代	広報等で一般家庭に浸透させていただきたい。
33	男性	60歳代	問4によれば国会議員における女性の割合は全体の14.4%。資産公開では、資産ゼロの議員が大勢いる。有権者が政治に関心を持ち、抜けどのがあるザル法などは許さないことだ。民主主義は、政治権力の透明性が求められる。国民の政治参加によって徹底した情報公開が進めば、北欧諸国のように女性が活躍する平等な男女共同参画社会も夢ではない。政治が変われば社会が変わる。政治を変えるのは国民だ。
34	男性	70歳代	女性の社会への進出について女性の意識が低い。人口減少、高齢化の下では女性の貢献は大きい。女性の能力への正当な評価ができる人材が必要。この点男性の能力の正当な評価ができる人材が存在することも同じである。
35	女性	20歳代	必然的に女性のほうが給料が低い傾向が見られます。そのような給料格差が自然と男性が仕事、女性が家庭という価値観を生み続けていると思います。
36	女性	70歳代	男女に関係なく、自分が得意な事、自分に出来る事をやればいい。
37	男性	40歳代	家庭での女性の在り方や、社会での在り方をもっと尊重してあげべきだと思います。職場とかではやはりまだ男性社会のようなので女性をもっとしっかり支えてあげべきだと思います。家庭でも男性が家事や育児などもっと行ってほしいと思います。その為に社会の政治を変えるべきだと思います。
38	女性	50歳代	性別により能力等さまざまな違いがあるため、平等とはならないと思うが、出産、子育てにより女性の生き方は大きく変化すると思う。そこを社会がサポートしてくれることで女性の活躍への道がつながるのではないのでしょうか。
39	女性	30歳代	女性も男性も活躍できる社会にするには「女性だから」「男性だから」という考えではなく一人一人の人のことをきちんと見ることが必要なのではと思います。
40	女性	40歳代	男女平等がさげばれてもう何年も過ぎているが、何でいまだに平等ではないのが不思議です。国際的にはかなり遅れていると知識ではみんなに理解しているのに結局、現在の日本社会で優位に立っている男性に平等に対する意識が低すぎるからだと思います。
41	女性	20歳代	子育て女性の再就職の難しさについて、もう一度、社会復帰したいと望んでもなかなか希望する職に就けない、また、職に就けたとしても子どもを預けることができる保育所への入園への困難。かなり男性との差を感じる。気軽に転職は考えられない。
42	女性	60歳代	男女ではなく、人としての考え方、生き方を子どものころから正しく学習することができれば不幸な人も少なくなるのだろうが。導く方に問題あり。
43	男性	70歳代	各自が生活するための考え方で異なると思います。争いを嫌う人、出世欲や権力(支配力)を欲しい人等で社会構成が異なると思う。今月の広報の論語の心が今の日本人には少し欠けている。お互いの尊厳を大事に生活し、社会に尽くせばいいです。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
44	男性	40歳代	ジェンダーフリーのような平等を強要する考え方は賛成できない。ともすれば最近では差別と言われてますが、男性が持つ男らしさ、女性が持つ女らしさは生かした上で、お互いがお互いを尊重して暮らしていける社会になればと思う。
45	男性	60歳代	子どもの時から男女平等の教育を徹底すること。教育現場において、学級委員長、クラブの長、委員会の議長など半分以上は女性にさせるなど、教師の指導を徹底させるなど小学校～高校時代からそれが社会において当たり前になるよう教育者への教育が必要です。社会（職場）に於いて管理部を半分以上女性にすること。行政の職場でそれを徹底させることなど女性の地位確保を法的に決めることの必要だと思います。国会議員、県市議会の1/3枠は女性にするなども必要です。口先だけの宣伝では変わらないと思います。
46	女性	60歳代	男女共に、どの様な立場でも平等に扱うべき。全ての人に同じ条件で扱うべき。
47	男性	60歳代	アンケートで終わらず、どのように課題を実践しているのか報告が必要では？
48	女性	40歳代	共同参画の為に、女性の社会進出は大事だが、子育てがないがしろにされるとこまる。夫婦で落ち着いて子育てできる環境（親と子がふれあえる）も一緒に考えてもらいたい。
49	女性	30歳代	育児していると思うことは、再就職をするのにとっても制限されてしまうということ。時間、子どもの迎え、母親はたくさんのことを考えなければならない。どんなに仕事に集中したくても、子どもの体調を最優先し、そばにいてやりたい気持ちと仕事とで悩むことも多いと思います。子どもにとってどうあることが良いのか、どんなふうに思っているのか、子どもにアンケートを取るのも大切かもしれません。
50	男性	60歳代	格差社会がどんどん進行しており、ますます差別が助長されている。富の再配分に近づく制度を充実させ、皆が豊かな価値観を育めるようなゆとりある生活が出来る事が必須である。
51	女性	60歳代	個人差はあると思いますが、主人が退職して家にいる場合、妻は家にいるべきとか、妻だからこうしなければいけないという考えを改めてほしく、もう少し男性が女性のことに対してみる目を考えてほしいと思う。
52	男性	60歳代	どこまでいっても女は損
53	男性	40歳代	ひと昔前に比べると男女平等は進んだように思えます。将来にわたって徐々にその流れが続くことを望みます。
54	男性	70歳代	男女平等の言葉はよく耳にしますが、現実には色々な問題が多く難しいと思います。昔からの男へ女へのイメージが根強い意識があると思われます。これからは現在の若者が中心になり少しずつでも改革していくのが良いのではないかと思います。
55	女性	20歳代	男女に関わらず個々の成果や人格をもっと認め合える世の中になればより住みよいのではないかと。LGBT、DV被害者、お互いに知ろうと思うことが第一歩です。何事も無知であるために恐れや差別が生まれる。
56	女性	20歳代	問3の文が少し不愉快でした。女性が働くことや責任のある役職に就くことを特別視している間は、男女が平等であるとは考えられないと思います。女性「初」という言葉、男性「初」という言葉がなくなる世の中になることを願っています。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
57	女性	70歳代	20歳から40年間仕事を続けました。子供2人は私の母がみてくれました。もちろん保育園にもお世話になりましたが送り迎え、小学校の下校後なども諸々、母親代わりで育ててくれました。（自分の）父母、夫の介護が始まったのは子供たちが巣立ち、定年で退職してからでした。私はずっと仕事でできて幸せでした。もし、母の助けがなければもっとはやく介護が始まっていたら、仕事は続けられなかったと思います。これからの娘たちの世代には、社会が行政が助けてくれる時代になってほしいです。女性も自立することが必要です。そのためにも男女共同参画を進めてください。
58	女性	30歳代	啓発や教育うんぬんよりも、男が育児や介護で休業・時短・転職するなどすると昇進コースから外れ、一生世帯所得に大きなマイナスとなる。父親の長時間不在の状況下では母親が産休ののち育休・時短・退職・パートタイマーで対処するしかない。この社会的構造がどうにかならない限り、根本的な解決にならないと思う。今のまま両親とも仕事人間になったら子供にしわ寄せがいく。
59	男性	30歳代	行政参加人数を男女同比率にする。
60	男性	60歳代	男女共同参画社会に関する講演や学習をしてきているので我が家では夫婦上手く分担できていると思う。ただ女性の就業については「子育て」と「出産」のところで女性でないと出来ないことがある。そのあたりで企業側の方針もあると思うので難しい問題であるように思う。行政も大変と思いますがよろしく願います。それぞれの問題に対応できる窓口があれば安心かと思えます。
61	女性	60歳代	小中学生には教育を、大人たちには啓発をして、2030年ごろには女性の管理職や国会議員が30～40%くらいになると住みやすい世の中になります。市役所の方は積極的に情報を発信して一歩先を行動してください。
62	男性	60歳代	備前市、昔から社会福祉が県内でも一番といってもいいくらい弱いといわれてきました。私も他の市から備前市に来まして、その通りですと感じました。むしろ、社会福祉には無法地帯のように感じます。浦伊部という地域をかかえているのもう少ししっかりしてほしいと思います。
63	男性	70歳代	高齢ですが平等が大好きな人間です。
64	女性	70歳代	男女共同参画ということはよく耳にしますが、よく理解しておりません。アンケートに対して選ぶことができませんでした。（質問に対してです）
65	男性	70歳代	今回の問題を提起する前に市役所職員の女性管理職を積極的に増やし市民との交流をスムーズに進めることができるし問題解決の一つになるのではないのでしょうか。
66	男性	60歳代	ダイバーシティの問題で不利益を受けられている方には、誠に気の毒だと思います。マスコミ等で徐々に意識が変化してきている感じはするが正直どうしていいかわからない。
67	男性	30歳代	保育園に入園できない子がいないようにお願いします。
68	男性	60歳代	備前市内ではもっと女性が積極的に活動できる機会を増やすようにすればどうでしょう。市議会議員も女性1名だけでは女性の意見も取り上げられないのでは？
69	女性	60歳代	社会、職場、家庭いづれにおいても男性の意識改革が必要だと思います。
70	女性	60歳代	家庭では、夫婦のコミュニケーションをしっかりとること。互いが何の情報でも共有すること。互いを尊敬すること。職場、家庭でも、男、女と差別せず話し合いなどできること。



No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
71	女性	60歳代	家庭では、夫婦のコミュニケーションをしっかりとること。互いが何の情報でも共有すること。互いを尊敬すること。職場、家庭でも、男、女と差別せず話し合いなどできること。
72	女性	60歳代	色々な資料を提供する。
73	女性	40歳代	男性・女性含め、会社の現状の雇用制度（正社員で長時間労働又は低賃金でパート）が変わらないと難しい。外国のように正社員でも4Hのみなど、多様性のある雇用形態にしてほしい。それには女性が決定権をもつ地位に就くことが大切と思うが、大体そういう女性は子育てしてないとねれず、子育ての大変さが分からない。（男性化しないと仕事の場で活躍できない。）
74	男性	70歳代	時代とともに若い人たちの間では、家庭においては役割の分担が進まざるを得ない状況（共働き社会）になっている。社会（もっと大きな単位）では、啓発活動を進め（行政など）意識（男性を主として）変えていくような取り組みが進められることを願っている。意識改革は長いことかかると思われるので、継続した取り組みが必要か。
75	女性	20歳代	本調査の問9、問10で「性的マイノリティ」という言葉が使用されているが、このような多数派と少数派を区別する表現は適切ではないと思う。
76	女性	50歳代	男女共同参画社会という形にとらわれない社会の実現に向けてのほうがいいと考えています。個を大事にしながらも、一人では生きていけない社会・環境の中でみんなで生きていく、お互いに支え合いながら、住みやすい世の中を創っていくことが大切だと。性別や立場や年齢にこだわることなく今現在そして近い未来そしてその先と自然災害やエネルギー問題、感染症などいろいろなことを乗り越えていく強い使命を持って、今できることを考えみんなで実行していきたいです。
77	女性	50歳代	パートナーの意識が高いことが望ましいと思います。
78	女性	60歳代	外から見えない個人の問題をすくい上げ、引っ張り出し、社会の問題として解決していくことの難しさをひしひしと感じる。でも諦めないで手を差し伸べ、手を貸し、助け合って生きていくべきと思う。
79	男性	70歳代	大・小の会社勤め、自営業など職業によってかなりの違いがあると思います。
80	女性	70歳代	テレビで日本でも性的マイノリティの人たちに手を差しのべている具があると知りました。備前市には、、、わかりませんが、できれば広い心で理解したいと思います。
81	男性	40歳代	備前市が目指す将来像が見えてきません。男女共同参画社会といえば耳障りは良いですが、方法を誤れば少子化が一気に進む恐れもあります。支援やサービスも良いですが、企業へ対する強制力を使わなければ、形だけで現実的には難しいように思います。予算も限られているとは思いますが、どこまでの覚悟を決められるかで備前市の市政の価値が決まるように思います。実際のところ他の施策に比べ優先順位は高くないといったところでしょうか？
82	女性	50歳代	現在は情報が多いためずいぶん進歩しているのかなと思いますが、まだまだ古い考えの高齢者の方や職場等でも年齢によって考え方の違いなどコミュニケーション不足（情報ばかり先行して）も増えてなかなか本当の意味でも平等にはいたってないと感じる。人材育成やもっと余裕のある仕事環境などがあれば良くなるのかなと思う。忙しく働いていると気持ちの余裕のなさから（ストレス大）差別的な事象はおこっている気がします。
83	女性	40歳代	性の違和感を感じる子供は、小学校入学前にはもう本人自身になんとか気づいているように思うので、早い段階での学ぶ機会や母親の相談できる場をつくってあげてほしい。とはいえ、あまりに早すぎると「あぁの子が、、、」とまた言われたりすると思うのでいろんな人がいて（性も肌の色などなど）ありのままでもいいと思えることが大切だと思う。
84	女性	70歳代	女性議員がせめて3人位には増えてほしい。

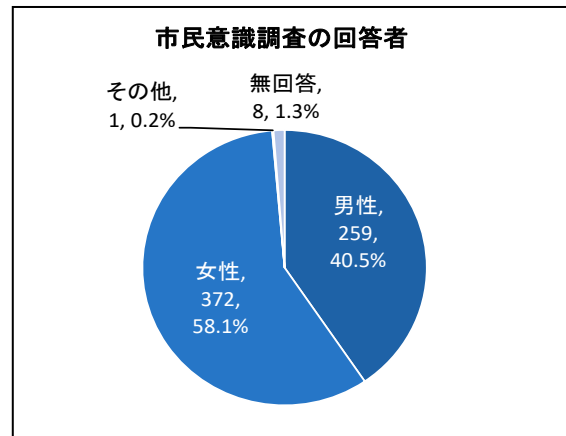
No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
85	男性	50歳代	女性の政策決定の場への積極的登用をお願いしたい。
86	女性	50歳代	DVについて加害者側がDVに気づいておらず、言葉の暴力、男尊女卑について無知であることが問題であると思う。いまだに女はこうあるべきだと時代錯誤であること、田舎ならではの古い考え方、思考を持っている相談しようにも田舎なのでにくい。
87	女性	40歳代	女一人で細々と40年生きてきて、徐々に生きにくい世の中になってきたと痛烈に感じています。他人に対する思いやりというか想像力が少なくなってきたなとか他人の痛みが分かりにくくなってきたように思います。もう少し他人の痛み、苦しみが理解できる世の中になってほしいと思いつつ、それは昔の幻想なのかと思ってみたり、、、誰も傷つけない世界というのは難しいと思いますが、でも少し想像力があれば補えるのではと思ってみたり、、、。正解なんてわかりませんが、幼児期の読み聞かせや読書なんてどうでしょうか？本を読むことは書かれている人物の人生を体現できるのでいろいろな人生を生きることができます。これからの子どもが優しい他人の心がわかる人間になれるように！
88	女性	30歳代	男女、男女ということがすでに同参画社会に反するところがある意味あるのでは、、、？と正直自分は感じた。女の人のほうが稼ぐ家庭もあるのに、男性が（特にある程度の歳の方）がどこかで「女なのに」「女のくせに」という概念があることが残念なこと。女のほうが大変ですよ。私からすると今は、仕事、育児、家事、、、。自分の時間をどこで作れば、、、？と感じる。うちは主人が協力的なのでマシなほうだと思いますけどね♪
89	男性	70歳代	他にやることがあるでしょう。
90	男性	70歳代	講演会等を少しでも多く開催し出来るだけ多勢の人が自由参加できるような機会を設ける。
91	男性	70歳代	備前市にも女性市長が出てほしい。
92	女性	50歳代	男女共同参画社会の名前を見る度何だっけ？とちょっと理解しやすい名前が良いと思います。男女間だけでなく年代の問題もある。男女が平等でないのが当たり前と思う。男女、それぞれが得意な事が自然とできればお互い認め合う勉強のほう望まれる。
93	女性	50歳代	男女共同が当たり前になり、「男女共同参画社会」という言葉さえなくなる社会になってほしいです。初等教育の場である小学校から「君」「さん」の呼称をやめたり、子供のころから男女は平等、対等であることを自然と身に付ければその子達が社会に出るころには平等社会になっていると思います。私たちが中学生の頃は、男子は「技術」女子には「家庭科」と授業が分かれていました。現在はそれもなくなり良くなっていると思います。
94	女性	40歳代	女子2人の子どもがいます。日頃からしつけのつもりで「女の子はそんなかっこうをしたらはしたないよ」とか言ってしまいます。でも、それって男女を区別するということが現代社会ではナンセンスなのではないか。"男性らしさ""女性らしさ"という言葉はもう使わないほうがよいのでしょうか、、、ふと思うことがあります。
95	女性	50歳代	20代・30代の人達は"男女共同参画社会"の意識が増えていると思いますが、40代以降の世代、特に高齢になる程その意識が薄いと思う。その世代に指導してほしいです。

No.	性別	年齢	自由意見（男女共同参画社会の推進について）
96	女性	60歳代	若い世代の人が社会生活に入れない。いわゆるニートの人が多く地域でも何人もそういう人がいるように思います。いつ家庭内で暴力事件が起きても不思議なことではないほどの家庭があるようです。どうにかありませんか？そういう人を受け入れて、社会生活の訓練ができる場はないのでしょうか？
97	女性	70歳代	講習など行っても参加する人は意識が高い人でむしろ必要な人が参加しない。参加を義務付けることもできないし、結局何も実質できない。絵にかいた「もち」のような施策のような感がある。
98	女性	40歳代	だいたい男女共同参画社会とはなんぞや？なんだかんだいっても女にしか子供は産めない。なので、男がもっと働け！社会で働くだけが仕事と思うな。家事もやれ。子育てに参加しろ。働くお母さんはあたりまえのようにやっていることだ。何もせんくせに子どもの行事だけ仕事休んで参加すんな。こういう人多い（笑）自由にということなので自由に書いてみました。
99	女性	40歳代	性的マイノリティの方がつらい思いをしない街になればと思います。
100	女性	70歳代	全ての人が思いやりを持って助け合うことが良いのですが。
101	女性	60歳代	現状として、家事（洗濯、掃除、調理、買い物、後片付け等）を男性が半分受け持ってくれる事はほぼありません。家事は、男性が考えている以上に多種多様で負担も、時間、肉体、精神的にも重いものです。同じように朝から晩まで働いて尚、女性にほぼ頼りきり、おまけに、365日休みも無いのが家事です。そんな状態では、女性に負担がかかるだけです。また、仕事社会における女性の立場は悪く、企画も改善案も口すら出せません。こんな有様でこのような企画が通りますか？
102	男性	30歳代	もっと男性の方の理解ももっと必要だと思う。男女の役割などもまだ昔のように根強く残っている気がする。特に親世代ではよく聞く。

### 3. 回答者の属性

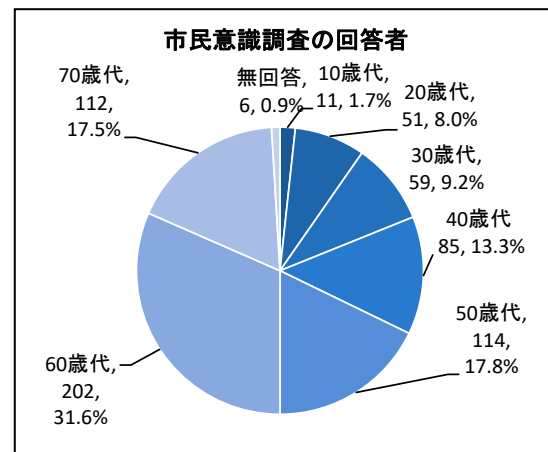
#### (1) 性別

回答者の性別は、「女性」が 58.1%、「男性」が 40.5%となっています。



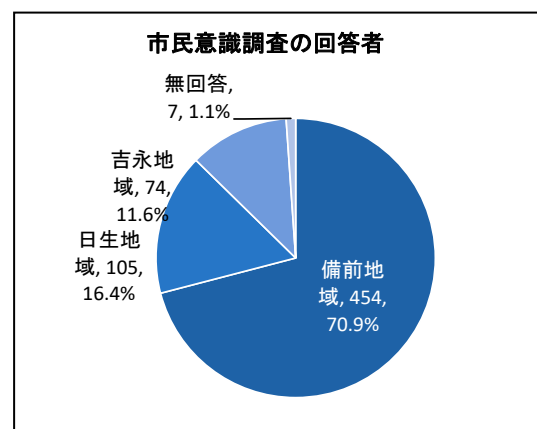
#### (2) 年齢

回答者の年齢は、「60 歳代」が 31.6%と最も高い割合となっており、次いで、「50 歳代」が 17.8%、「70 歳代」が 17.5%となっています。



#### (3) 居住地

回答者の居住地は、「備前地域」が 70.9%、「日生地域」が 16.4%、「吉永地域」が 11.6%となっています。



令和2年度  
備前市男女共同参画社会の推進に関する市民意識調査

市民意識調査へのご協力をお願い

備前市では男女が共に支え合い、輝いて生きることができるまちづくりを進めています。この調査は、男女共同参画社会に関するお考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とすることを目的としています。質問に対する回答は、この調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒にてご返送ください。

この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果は統計的にのみ処理いたしますので、ご理解・ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年7月

備 前 市 長

アンケートは、同封の「返信用封筒」に入れ、  
令和2年7月20日（月）までにご投函してください。

ご記入にあたってのお願い

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、普段ご自分が考えていること、または行っていることがあればご意見をお聞かせください。
3. 回答は、あてはまる答えの番号を一つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ、番号に○をおつけください。
4. 質問の中には、○をつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
5. お答えが、「その他」の場合には、番号に○をつけ（ ）内に内容をお書きください。
6. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問い合わせください。

《問合わせ先》

備前市 市民生活部 市民協働課  
人権・男女共同参画係  
〒705-8602 備前市東片上126  
TEL:64-1823  
FAX:64-1847  
E-mail: [bkkyoudou@city.bizen.lg.jp](mailto:bkkyoudou@city.bizen.lg.jp)

問1 あなたの家庭では、日ごろ次のような役割を主に誰が行っていますか？

各項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※あてはまるものがない場合はその他を選択してください

	主として 夫・父	主として 妻・母	夫婦 同程度	主として 子ども	家族分担	※その他
1 食事の用意	1	2	3	4	5	6
2 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
3 掃除	1	2	3	4	5	6
4 洗濯	1	2	3	4	5	6
5 買い物	1	2	3	4	5	6
6 子どものしつけや教育	1	2	3	4	5	6
7 乳幼児の世話や育児	1	2	3	4	5	6
8 介護や看護	1	2	3	4	5	6
9 近所や親類との付き合い	1	2	3	4	5	6
10 自治会や町内会活動	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、社会通念、慣習、社会制度について、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 男性の方が非常に優遇されている	2 どちらかといえば男性の方が優遇されている
3 男女平等になっている	4 女性の方が非常に優遇されている
5 どちらかといえば女性の方が優遇されている	6 わからない

問2-1 問2で「1 男性の方が非常に優遇されている」、「2 どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた方におたずねします。男性の方が優遇されている原因について、あてはまると思う番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから
- 2 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないと思うから
- 3 能力を発揮している女性を適正に評価する環境や機会が欠けていると思うから
- 4 男性のほうが政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから
- 5 男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから
- 6 男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから
- 7 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから
- 8 育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから
- 9 専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから
- 10 その他( )

**問3** あなたは、女性の就業について、どう思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
- 2 結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい
- 3 子どもができるまでには仕事をやめる方がよい
- 4 女性は就業しない方がよい
- 5 わからない
- 6 その他( )

**問4** あなたは、女性が政策・方針の決定にかかわる役職(管理職)にあまり登用されていない理由は何だとお考えですか？ あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※国会議員における女性の割合は全体の14.4% (2020年1月1日現在)

- 1 家庭、職場、地域における性別役割分担があるから
- 2 結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから
- 3 男性優位の組織運営になっているから
- 4 家族の支援・協力が得られないから
- 5 女性側の積極性がないから
- 6 女性の能力の発揮機会が不十分だから
- 7 職場や会議などに女性の構成員が少ないから
- 8 家事・育児等家庭を優先的に考えるため、責任ある役職につきたくないから
- 9 その他( )

問5 あなたは、男女の役割分担に対する意識についてどう思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい
- 2 男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任を持つのがよい
- 3 男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい
- 4 男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい
- 5 わからない
- 6 その他( )

問6 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことはなんだと思いますか？

重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。



- 1 病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実
- 2 保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実
- 3 学校教育、社会教育などの場での男女の平等と相互の理解や協力についての学習の充実
- 4 出産休暇や育児休業などの制度の充実
- 5 町内会など、地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進
- 6 職場における男女平等な取り扱い等の周知徹底
- 7 女性の就労機会の確保と就業教育や訓練の充実
- 8 女性の政策決定の場への積極的登用
- 9 男女共同参画社会にかかわる情報の収集・提供
- 10 広報紙、講演会などによる男女の平等や慣習の見直しなどの啓発
- 11 リーダー養成など女性の人材育成の推進
- 12 女性に対する暴力の防止及び被害者の支援促進
- 13 その他( )

**問7** あなたは、今まで※DV(ドメスティック・バイオレンス)と思われる行為を受けたことがありますか？  
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、夫婦(恋人)間暴力のことで、パートナーからの暴力をいいます。殴る、蹴るなどの身体的暴力、言葉による精神的暴力、性的暴力などがあります。一般に「DV」と略して使われます。

**問7-1** 問7で「1 はい」と答えた方におたずねします。あなたは、次のどの行為を受けましたか？  
あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた
- 2 暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた
- 3 見たくないポルノビデオを見せられたり、いやがっているのに性的行為を強要されたり、避妊に協力してくれないなどの性的暴力を受けた
- 4 生活費を入れてくれない、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた
- 5 外出を制限する、携帯電話・スマートフォンをチェックする、友人、親戚との付き合いを禁止するなどの社会的暴力を受けた
- 6 子どもの前でばかにされたり、責められたりされた(子どもを巻き込んだ暴力)
- 7 その他( )

**問7-2** 問7で「1 はい」と答えた方におたずねします。DV(ドメスティック・バイオレンス)と思われる行為を受けたとき、どこへ相談しましたか？

あてはまる番号全てに○をつけてください。

1 親族	2 友人・知人
3 民生委員・児童委員	4 医師・カウンセラーなど
5 弁護士	6 人権擁護委員
7 警察	8 市や県(女性相談所、男女共同参画推進センターなど) の相談窓口
9 民間の相談機関	10 どこへも相談しなかった
11 その他( )	

**問8** あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)をなくすためには、どのような支援や対策が必要だと思いますか？必要だと思う番号を3つまで選んで○をつけてください。

1 DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発
2 被害者への身の安全を保障できる場所(シェルター等)の提供
3 被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供
4 被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助
5 お互いの人権を大切にする教育の充実
6 暴力等を防止するためのセミナー、イベントなどの充実
7 被害者への経済的な自立に向けた支援
8 被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助
9 被害者に対する周囲の理解と協力
10 被害者への民間支援グループなどによる援助
11 被害者支援サポーターとして身近に相談できる人を養成する
12 加害者への指導やカウンセリング
13 加害者への罰則の強化
14 その他( )

問9 あなたは、性的マイノリティの人権に関し、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか？

**3つまで選んで○をつけてください。**

※性的マイノリティとは、何らかの意味で「性」の在り方が多数派と異なる人のことです。

- 1 職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること
- 2 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 5 アパートなどの住宅への入居が容易でないこと
- 6 宿泊施設・店舗などへの入居や施設利用を拒否されること
- 7 性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること
- 8 経済的に自立が困難なこと
- 9 その他( )

問10 性的マイノリティの人権が守られるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか？

**3つまで選んで○をつけてください。**

- 1 広報紙やホームページ、講演会など、市民の理解促進のための啓発活動
- 2 性の多様性について交流を行うコミュニティスペース
- 3 専門の相談窓口
- 4 性的マイノリティ支援宣言
- 5 パートナーシップ証明書の発行など、社会制度の見直し
- 6 当事者へのアンケート調査
- 7 学校などでの子どもたちの学習機会
- 8 制服やトイレなど、教育現場での配慮
- 9 就労において差別されないような企業への働きかけ
- 10 その他( )

問11 最後にあなた自身のことについてお尋ねします。それぞれの項目ごとにお答えください。

(1) あなたの性別は? (○は1つ)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他(体と心の性別に違和感がある人等)

(2) あなたの居住地は? (○は1つ)

- 1 備前地域
- 2 日生地域
- 3 吉永地域

(3) あなたの年齢は?(令和2年4月1日現在の満年齢で選んでください。○1つ)

- 1 10歳代
- 2 20歳代
- 3 30歳代
- 4 40歳代
- 5 50歳代
- 6 60歳代
- 7 70歳代



男女共同参画社会に関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

---

---

---

---

---

---

※ご協力ありがとうございます。アンケートは、同封の「返信用封筒」に入れ、令和2年7月20日(月)までにご投函してください。